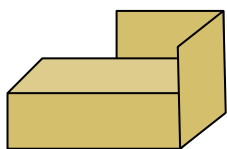


避難所で使う

いろいろな物

vol.1



段ボールベッド

段ボールベッドとは段ボールでできたベッドです。避難所では床に直接、毛布を敷くなどして雑魚寝をしていましたが、エコノミークラス症候群やストレスによって、災害関連死につながる危険性があるため、最近では日本の避難所にも導入されるようになりました。

メリット

- ・組み立てに工具は不必要で簡単に行える
- ・エコノミークラス症候群の予防に繋がる
- ・雑魚寝と比較し足腰への負担が軽減する
- ・使用後はリサイクルが可能

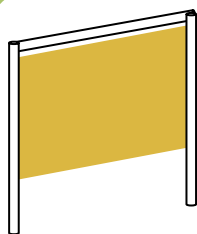
デメリット

- ・長期間の使用は困難
- ・湿気が多い場所では強度が低下する場合がある



ポイント

ベッドの高さによって立ちやすくなったり、立ちにくくなったりします。そのような時はお近くの理学療法士や作業療法士に相談してください。



パーテーション (間仕切り)

パーテーションとは広い空間を小部屋に仕切ったり、視線を遮るのに使用される間仕切りのことです。コロナウイルス感染症が蔓延する中でも避難所では飛沫防止のために使用されることもあります。避難所では感染を予防するために換気を考慮し、より高いものが望ましいとされています。

メリット

- ・プライバシーが守られる
 - ・飛沫が防止できるため、コロナウイルスやインフルエンザなどの感染予防ができる
- ※飛沫防止のためには座った姿勢で口元より高い物が通しています

デメリット

- ・避難所での換気効率が低下
- ・パーテーション内の被災者の状況を把握しにくい場合がある
- ・地震などで倒れた際に、怪我をする可能性がある



ポイント

パーテーションは感染対策の観点から、消毒可能な素材が好ましいとされています。

今後も避難所で使ういろいろな物の特徴や使用時のポイントなどについてご紹介します

